



たのしい絵本と紙しばいの会

- ・12月18日(木) 午前10:30～ (クリスマス会)
※場所は馬頭総合福祉センターとなります。
- ・1月15日(木) 午前10:30～
・場所 馬頭図書館 視聴覚室
小さいお子さまのためのおはなし会です。
親子で一緒にお越しください。

読書会

- ・1月14日(水) 午後1:30～
・場所 馬頭図書館 視聴覚室
テキスト「雪国」 川端康成／著
和やかな雰囲気です。興味のある方はお気軽にどうぞ。



婦人ボランティアのおはなし会

- ・12月21日(日) 午前10:30～
・場所 小川公民館 2階
- ・1月10日(土) 午後2:00～
・場所 馬頭図書館 じどうしつ
おはなししょうすなボランティアが昔ばなしの絵本や紙しばいを読んでくれます。

馬頭図書館・小川図書館の休館日 (12/16～1/15)

共通：12月23日(火)、28日(月)、29日(月)、30日(火)、31日(水)、1月1日(木)、2日(金)、3日(土)、4日(日)、12日(月)

馬頭図書館休館日

12月22日(月)、1月5日(月)、13日(火)

小川図書館休館日

12月19日(金)、26日(金)、1月9日(金)



今月の表紙

11月30日、山村開発センターを発着点に第27回ゆりがねマラソン大会が開催されました。スタートに先立ち、大会会長の川崎和郎町長は「晩秋のすばらしい紅葉の景色を見ながら頑張ってください」とあいさつ。419名のランナーたちは、沿道から観客の声援を受け、ゴール目指して町内を走り抜けて行きました。

なかよしひろば

- ・12月19日(金) 午前10:00～
クリスマス会をしよう。
お楽しみプレゼントもあります。
・参加費 150円 ・参加申し込み 12月17日(水)まで

クリスマス会

- ・12月23日(火・祝) 午前10:00～
みんなで楽しくパーティーしましょう！
お友だちを誘って申し込んでネ。
・参加費 100円
・参加申し込み 12月19日(金)まで

昔のあそびをしよう

- ・12月25日(木) 午後2:00～
ベーゴマ、あやとり、おてだま、けん玉、おはじきなど昔から伝わるあそびをしよう。学校から帰ったら遊びに来てね。おやつタイムもあります。

冬休みお楽しみ会

- ・12月26日(金) 午前10:00～
お友だちを誘って参加してください。
冬休みを楽しくすごそう。
・参加費 無料 ・参加申し込み 12月23日(火)まで

生け花教室

- ・12月26日(金) 午後1:30～
お正月用のお花を生けます。
会員でない方も大歓迎！きれいに飾って新年を迎えましょう。
・花代 1000円
参加したい方(会員以外)は20日(土)までに申し込んでね。

お正月を楽しもう

- ・1月7日(水) 午前10:00～
福笑い、かるた、すごろく、百人一首などお正月あそびをしましょう。
おやつはおいしい抹茶と和菓子です。
・参加費 無料 ・参加申し込み 1月5日(月)まで

チャレンジクッキング

- ・1月11日(日) 午前10:00～
おめでたい紅白の“すあま(寿甘)”をつくります。
・持ってくるもの エプロン、三角巾
・参加費 50円 ・参加申し込み 1月9日(金)まで

「児童館」 12月16日～1月15日 のお休み

開館時間 午前9時～午後4時

☎0287-96-3109

日	月	火	水	木	金	土
		12/16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1/1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15		

「丑」を考古学する

今年も風土記の丘資料館恒例、新年の干支をテーマとした小中学生向け展示会の季節がやってきました。

来年の十二支はウシです。ウシは大型の草食獣で、豚や羊など、四つ足の家畜の中でも一番飼育数が多く、牛肉や牛乳、チーズ、ヨーグルトなどの乳製品は、今や私たちの生活に欠かせないものとなっています。また、那須地方では夏になると、原っぱでウシがのんびり草を食んでいる光景を目にする機会もあるかと思えます。

日本におけるウシとヒトとの関係は旧石器時代まで遡ることが出来ます。岩手県一関市(旧・花泉町)の花泉遺跡からは野生牛の骨や、その骨を利用した尖頭器(せんとうき)が出土し、ハナイズミモリウシと名づけられました。この発見により、人々がウシを追い、それを捕らえて食用とし、また骨を利

器として用いていたことなど、当時のウシとヒトとの関わり方をつかうことが出来ます。

出土したハナイズミモリウシの骨から全身を復元すると、体長295cm(頭部の長さを含む)、体高173cmの大きさとなりました。現在の和牛の体高が130、140cm程度なので、かなり大型のウシであったことが分ります。しかし、これらのウシは地球温暖化による環境の変化や、主な狩猟の対象となっていたことなどから、やがて絶滅してしまいました。

ではその後、日本のウシはどうなったのでしょうか。『魏志倭人伝』には「ソノ地ニハ牛、馬、虎、豹、羊、鵠ナシ」と、三世紀ごろの日本にウシはまだいないかのような記述があります。しかし実際には、縄文・弥生時代の遺跡からウシの骨が出土しており、それらのウシが家畜か、

野生のものかは定かではありませんが、その時代にウシがいたことは確かでしょう。ハナイズミモリウシなど野生牛の絶滅後、詳細はわかりませんが、ウシは朝鮮半島を経て日本に移入してきたと考えられています。

それからウシは家畜として飼われ、農作業や荷物運びに使われたり、乳をしぼったりと、私たちの生活の中で重要な役割を果たす動物へとなってきました。

ウシとヒトとのさまざまな関り合いの歴史を紹介する展示会「丑を考古学する」は、12月6日から小川館で開催しています。皆さまのお越しをお待ちしています。

(なす風土記の丘資料館 学芸員 木村 友美)



ハナイズミモリウシ復元模型 岩手県立博物館所蔵

うぶごえ

(氏名)(父母の名)(住所)

岡山	心櫻	健太郎	馬頭
西山	快	貴大	馬頭
鈴木	蒼太	真由美	馬頭
阿久津華音	孝夫	奈都江	矢又
岡	ゆずき	一義	早百合
関	航大	ひとみ	盛泉
大金ひまり	厚文	麻美	小川
結城	空夕	靖宏	小川
長谷川柚菜	修一	昌子	小川
荒井	優人	孝昭	谷田
荒井	蓮	孝昭	谷田

おくやみ

(氏名)(年齢)(住所)

菊池	芳子	(76)	馬頭
大島	かね	(79)	馬頭

12月1日現在の人口

(住民基本台帳)

男	9,860人 (+5)
女	9,861人 (-7)
計	19,721人 (-2)
世帯数	6,068 (+9)

()内は前月との比較

掲載は希望者のみです。敬称略

星	コト	(90)	健武
小野寺マツ	(87)	健武	
塩澤 勝男	(83)	健武	
石田トミ子	(84)	矢又	
岡崎 勉	(94)	小口	
高野 房男	(83)	富山	
小室 ツル	(70)	大内	
郡司 末吉	(54)	大山下郷	
鈴木 セン	(90)	大山上郷	
大森 和雄	(81)	大山上郷	
大金八ツイ	(73)	大山上郷	
加藤マサノ	(94)	小川	
檜山 定吉	(83)	小川	
佐藤 敏枝	(59)	小川	
鶴時 テル	(78)	小川	
古沢 征六	(69)	小川	
國安 ツネ	(81)	吉田	
鈴木 玄一	(77)	谷田	
北條 ツヤ	(79)	谷田	
阿久津 登	(82)	白久	
石澤 淳子	(64)	三輪	
吉田モモエ	(80)	三輪	
佐藤 敏幸	(53)	芳井	